

## 事前評価個表

整理番号	19
------	----

地域（地区）名	<small>おんがかわ</small> 遠賀川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	福岡県	対象市町村	<small>きたきゅうしゅうし</small> 北九州市ほか26市町村
事業実施期間	H29 ～ H33（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、福岡県の中央部から北東部に位置し、北部は玄界灘に面し、西部は福岡地区、南部は筑後・矢部川地区及び大分北部地区、東部は周防灘に接している。</p> <p>本地区の森林面積は、107千ha（森林率50%）、対象民有林は92千ha（森林全体の86%）、うち人工林面積は53千ha（人工林率57%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、木材として利用可能な区齢級以上のスギ・ヒノキ林面積が全体の79%を占め、人工林資源は利用期を迎えている。</p> <p>特に、本地区は、遠賀川等を通じた大都市圏への水の供給源として重要な地域であるが、近年の木材価格の長期低迷により主伐を中心とした木材等生産活動は停滞し、適切な森林整備がなされていない高齢林分が増加するなど、森林の持つ水源涵養等の公益的機能発揮への支障が懸念される場所である。</p> <p>このことから、森林経営計画等に基づいた主伐を推進し、本事業による再造林、下刈り、間伐等の適時適切な施業と路網整備による施業の効率化・低コスト化を推進することで、森林の世代サイクルの回復を図る。</p> <p>本事業では、効率的な施業に不可欠な路網整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,974ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：720m 林業専用道</p> <p>総事業費：2,243,980千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.03 (総便益(B) = 15,501,063千円、総費用(C) = 3,843,034千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林施業を効率的に推進することにより公的機能の発揮と木材の安定供給が図られ有効である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:福岡県

地域(地区)名:<sup>おんががわ</sup>遠賀川

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	4,025,760	
	流域貯水便益	1,249,412	
	水質浄化便益	3,223,450	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,499,418	
	土砂崩壊防止便益	283,132	
環境保全便益	炭素固定便益	2,168,161	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	841	
	木材利用増進便益	2,701	
	木材生産確保・増進便益	2,142	
森林整備経費縮減便益	森林整備促進便益	37,033	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	8,865	
維持管理費縮減便益		148	
総 便 益 (B)		15,501,063	
総 費 用 (C)		3,843,034	
費用便益比	$B \div C = \frac{15,501,063}{3,843,034} = 4.03$		

# 森林環境保全整備事業 遠賀川地域（福岡県）概要図

